



Rainbow

学園長 田中 稔
4年担任 鈴木 千晃
武井 聡子
田中 優一
齋田 隆雄 眞
副担任 寺本 眞央

確かな学力を育む取組

下の表は、5月に実施した杉並区特定の課題に対する調査等の結果です。

本校の4年生の正答率は、算数においては区平均を上回っていました。国語と理科は、項目ごとに見ると平均を上回っている問題もあるものの、全体的には、区平均を下回っています。この結果を受けて、各教科の授業内容をより定着させるために、学び残しやつまずきを減らすために個別学習を充実させたり、グループ学習を推進したりするなど、授業改善に取り組んでいます。また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習や家庭学習の見直しを図っていきます。

＜杉並区特定の課題に対する調査（区学力調査）の結果より 各教科の平均正答率（％）＞

国語	本校	52.2
	区平均	55.9
算数	本校	69.4
	区平均	65.1
理科	本校	64.6
	区平均	66.1

＜個票をもう一度見直しましょう＞

上の表は、4年の平均値です。大切なのは、**一人一人が課題をしっかりと把握して学習に取り組んでいくこと**です。2学期の保護者会でお渡しした個票に項目ごとに正答率と目標値が書いてあるので、家庭学習をする際の参考していただければと思います。

算 数	基礎		4年生の学習では 数学的な考え方：見通しをもち、筋道を立て考えたことを表現する力 技能：計算や測定をし、数量や図形について表したり、調べたりする技能 知識：数量や図形についての意味や性質、特徴についての理解	
	応用			
	観点別	学ぶ力		数学的考え方
		学んだ力		技能 知識・理解
	領域別	数と計算		
		量と測定		
		図形		
		数量関係		

理 科	基礎		4年生の学習では 思考・判断：自然の事物・現象の変化に着目し、その要因について考え、問題を解決する力 技能：観察・実験・ものづくりを行い、その過程を分かりやすくまとめる力 知識・理解：自然の事物・現象の性質のきまりについての理解	
	応用			
	観点別	学ぶ力		思考・表現 技能
		学んだ力		知識・理解
	領域別	エネルギー		
		粒子		
		生命		
		地球		

《学園における学力向上の取組》

- ・校内研究を通して、「思考力・判断力・表現力等」の向上を目指しています。一人一人がじっくりと考える時間を確保するために「個で思考する」→「話し合い、ICT活用を通して思考を共有する」→「自分の考えを問い直す」流れを大切に授業づくりを行っています。
- ・小学部と中学部の教員が話し合い、9年間のつながりのある学習を展開しています。今までに学んだことを生かし、さらに知識・技能を身に付けることができるようにしています。
- ・小学部の授業を中学部教員が指導したり、中学部のパワーアップ教室に小学部教員が参加したりするなど、互いの長を生かした指導体制を整えています。

《地域と協力した学力向上の取組》

- ・放課後学習（小学部木曜日、中学部水曜日）、夏のパワーアップ教室では、学校支援本部と協力して個別学習の充実を図っています。学園が開校してから4年目の取組となり、着実に成果が表れています。
- ・思考力を高める「わくわく算数レストラン」、知識・技能の定着を確認する「漢字・英語検定」を定期的実施しています。
- ・土曜日に学校支援本部が「手習い塾」を開催しています。小学部・中学部の児童が集中して自分の課題に取り組んでいます。さらに、多くの児童生徒に参加してほしいと思います。

《4年生における学力向上の取組》

- ・一部教科担任制
→教員の専門性を生かして、社会（鈴木千、斎田）、理科（武井、田中優）、で実施しています。
- ・「漢字50問テスト」「47都道府県名テスト」学習計画表の実施
→中学部のように学習計画を立て、自ら学習に取り組む習慣を身に付けることができますようにします。

4年 授業改善プラン（学力テストの結果より）

※社会は4年生で学力調査がありません。5年生で都の学力調査があります。例年の結果を踏まえて記述してあります。

国語科

- ・聞かれている事柄を文章から正しく書き抜く力
- ・文章全体を正しく読む力
- ・学んだ事を自分の経験と結びつけて書く力
- ・既習の漢字を書く力
などに課題が見られました。



授業改善のポイント

- ・文章を正しく読む力を高めます。
→中心文の中から、接続詞やキーワードとなる言葉を取り上げながら文を読むようにします。
- 音読をする時間を取り入れて、語と語、文と文のつながりを考えて読めるようにします。
- ・自分の考えがもてるようにします。
→物語や説明文を読み、感想を書く時間や伝え合う時間を多く取り入れていきます。
- ・言葉を正しく理解できるようにします。
→繰り返し漢字の学習ができるようにプリント学習をしていきます。

社会科

- ・「東西南北の方位」「杉並区的位置」「都道府県」の位置などの地理に関する知識の正答率が低いです。
- ・複数の資料の読み取りに課題があります。



授業改善のポイント

- ・確実な知識の定着を図ります。
→毎時間、授業の中で地図帳やプリントを使用し「方位」や「市区町村や都道府県」の位置名称の確認を行います。
- ・複数の資料を正しく読む力を高めます。
→まずは、1つの資料に絞って読み取り方を丁寧に確認していきます。確実に読み取れるようになってきたら、複数の資料の関連性を探したり、比較したりする見方を学習していきます。

算数

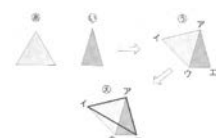
- ・「4位数－4位数の筆算」「3位数×2位数の筆算」など計算処理が多少複雑になる問題や、「図形の性質を活用して考えること」を問われる問題の正答率が低かったです。

例

(1)
$$\begin{array}{r} 7084 \\ - 1476 \\ \hline \end{array}$$
 (2)
$$\begin{array}{r} 578 \\ \times 31 \\ \hline \end{array}$$

(3) 下の図のように、正三角形と二等辺三角形があります。この2つの形を合わせると、②の図のように、1つの辺がぴったり重なりました。

このとき、②の形のようにア、イ、エの頂点を直線でつないだ形は、何という三角形ですか。
また、その三角形と言えるわけを説明しましょう。



授業改善のポイント

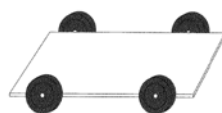
- ・確実な計算力の定着を図ります。
→復習の範囲を広げ、既習内容に立ち返る場面を設定します。四則計算の筆算練習を繰り返し行っていくます。
- ・学んだこと（図形の性質等）を活用して考え、説明する力を高めます。
→具体物とICTを有効に活用して、図形の性質をより深く理解できるようにします。また、学んだことを使って考える学習課題を設定し、ノートに考えを書く時間を十分に確保します。友達と考えを説明し合う活動を多く取り入れ、学び合いの中で、考え表現する力を身に付けられるようにします。

理科

- ・「物には、電気を通すものと通さないもの、磁石に引き付けられるものと引き付けられないものがあること」、「ゴムの力は、物を動かすことができること」、「物を動かすには色々な力を活用することができること」についての問題の正答率が低かったです。

例

② ひろしさんはゴムいかりの力で動くおもちゃを作ることになりました。どのようなほうほうを使った動く車が考えられますか。図の車に使うものなどの絵と文をかきわえて、動くしくみをせつめいしましょう。なお、動くしくみは、人がちょくせつ車をおしたり、坂道においたりすることではないものにしましょう。



授業改善のポイント

- ・学んだことを説明する力を高めます。
→実験結果のまとめ、結果から分かったこと、疑問に思ったこと等、考察し「表現する時間」を確保します。また、書く内容を掲示することで視点を明確にします。そして、考えを伝え合う「対話する時間」を十分に確保します。
- ・確実な知識の定着を図ります。
→知識の定着を確認する時間を設けたり、学習課題につながる既習事項を確認したりします。

4年生の家庭学習

＜家庭学習時間のめやす＞
50分（10分×学年＋10分）

宿題 宿題は、毎日3つは必ず出ます。

＜月～金＞

- ・漢字らくらくノート
- ・計算らくらくノート
- ・音読

※プリントや「力だめし」が出ることもあります。



自主学習ノート

- 授業で学習したことへの復習
 - 自分の課題（苦手なところ）を克服するための学習
 - 興味・関心があることを追求する自主的な学習
- *次ページの取組例を参考にさせていただきます

家庭でこんな学習してみよう（自主学習ノートを取組例）

○知識・技能の定着を図る取組 ●思考力等を育む発展的な取組

国語

- 国語辞典を使う習慣を身に付ける
(漢字の単語、慣用句等意味調べ)
- 新出漢字や前年度までに学習した漢字で文章を作る。
- 読書・新聞
- ことわざや慣用句の意味調べをした後におうちの方に分かりやすく説明したり短い文章でノートに書き表したりする。
- 読書した本や新聞の記事から、感想や意見を短い言葉で書く。

算数

- 教科書・ノートを見ながら授業内容を復習する。
例えば・・・
- ・計算練習
わり算の筆算(1)(2)、小数のたし算・ひき算
3年生で学習したたし算、ひき算、かけ算の筆算
- ・かい数、がい数を使った計算
- 文章問題を解くときに、自分で数直線、図、式、言葉等を使って考え方を書きおうちの方に説明する。
- 発展問題に取り組む。

社会

- 教科書・ノートを見ながら授業内容を復習する。
- 地図帳に親しむ。(各県の名産品・名所・歴史的建造物について調べ、まとめる。お出かけをする時に地図帳を持っていく。目につく所に地図を貼って見るなど。)
- 学習問題から疑問に思ったこと、さらに調べたいことを調べたり、実際に見たり試してみる。

理科

- 教科書・ノートを振り返りながら学習内容を復習する。
- 学習問題から疑問に思ったことや、さらに調べたいことを実験したり調べたりする。また、家庭でもできるもの作りも考える。(3、4年で学習したのを発展させる。)
- 学習したことを活用する発展問題に取り組み、自分の言葉で説明する。

ご家庭に協力していただきたいこと

子育て四訓に「少年は手を放して 目を放すな」という言葉があるように、児童が「一人にしてちょうだい」という時期ではありますが、親に「こっちを向いてほしい」というメッセージはいつも発信しています。お子さんの良いところや頑張りを見つけたくさん褒めてあげましょう。4年生とはいえ、まだまだ自分のことを自分で管理するのは難しいものです。お子様の学習の様子を定期的に見たり、話題にしたりしていただけたらと思います。

音読…正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、内容や言葉の意味を理解しているか質問をしてあげてください。

らくらくノート、プリントなど…終わったら内容を確認し、ほめてあげましょう。「漢字を丁寧に書けたね。」「計算ミスなく解けたね。」「おいしい！次こそ全問正解できるよ。」など次につながるプラスの声かけが良いですね。ノートに「確認のサイン」をすることもおすすめします。

地図帳…スポーツ番組やニュースで海外の国々の名前や国内の地名が出てきたときに家族で地図帳を開き、場所を探してみましょう。

学習環境…「決まった場所」で「一定の時間」を「集中」できるような学習環境を整えましょう。「テレビを見ながら」「お菓子を食べながら」など「～ながら」の学習は控えましょう。

☆お子様の実態に応じて、「できていないところを補う」「さらに力を伸ばす」等、自主学習ノートの内容を上を取組例を参考にお子様へアドバイスをしていただけたらと思います。学校でも学習内容や一人一人の習得状況によって、内容を提案していくようにします。

☆家庭学習について困ったことや分からないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。個々に合った学習内容や取り組み方について一緒に考えながら子どものすすんで学ぶ力を育てたいと思います。